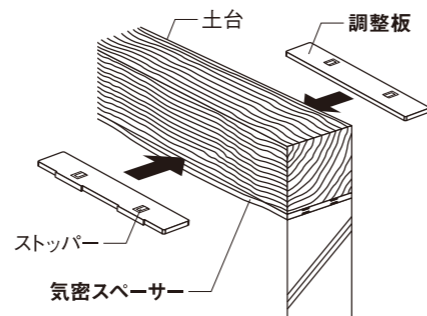


5 調整板 [別売品] の施工方法

- 調整板は、厚さ1・2・3mmがございます。調整板を使用する箇所では隙間の高さが違う場合は、隙間の高さに合わせて使用してください。
- 調整板は、2枚で1セット(水平レベル)ですので、必ず偶数枚で使用してください。
- 調整板の取付けは、気密スペーサーの両サイド(基礎の内と外)から、気密スペーサーの上(土台との隙間)に差し込み、手で入らない場合は、ハンマーなどで軽く叩き込んで土台の下に完全に挿入してください。
- 調整板の重ね枚数は2セット(6mm)までとし、2セット使用する場合は、気密スペーサーの上下(表裏)に調整板を1セット毎差し込んでください。

※6mmを超えると気密性能の確保ができなくなります。
 ※調整板を奥まで差し込んで気密スペーサーの表裏のストッパー嵌合部(溝部)へストッパーを嵌合させセットしてください。
 ※調整板が必要な場合は、最寄りの支店・営業所へお問い合わせください。



【敷き込み完了後の確認事項】

製品の敷き込み完了時や、土台の敷き込みが完了した時点で以下のことを確認してください。

チェックシート

※項目ごとに確認・完了のチェックを入れてください。

	確認	完了
① 気密スペーサーは、隙間なく敷き込まれていますか?		
② 気密スペーサーの気密材は連続していますか?(コーナー部分等)		
③ 内基礎用スペーサーは、施工ルール通り敷き込まれていますか?		

※土台敷設後に気密スペーサー及び内基礎用スペーサーと土台との間に隙間が生じる場合は、基礎天端の不陸が原因と考えられますので、調整板(別売品)を差し込み、土台の事後の不陸発生防止に備えてください。



本社:〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-14-1
 Tel.072(868)6611(代) Fax.072(868)6687

◎本製品に関する技術上のお問い合わせは **フリーダイヤル[J]:0120-106011**

本施工説明書の示す使用取扱い条件を逸脱した場合は、本製品に関する性能・品質及び構造体の安全性についての保証は出来ません。

Joto

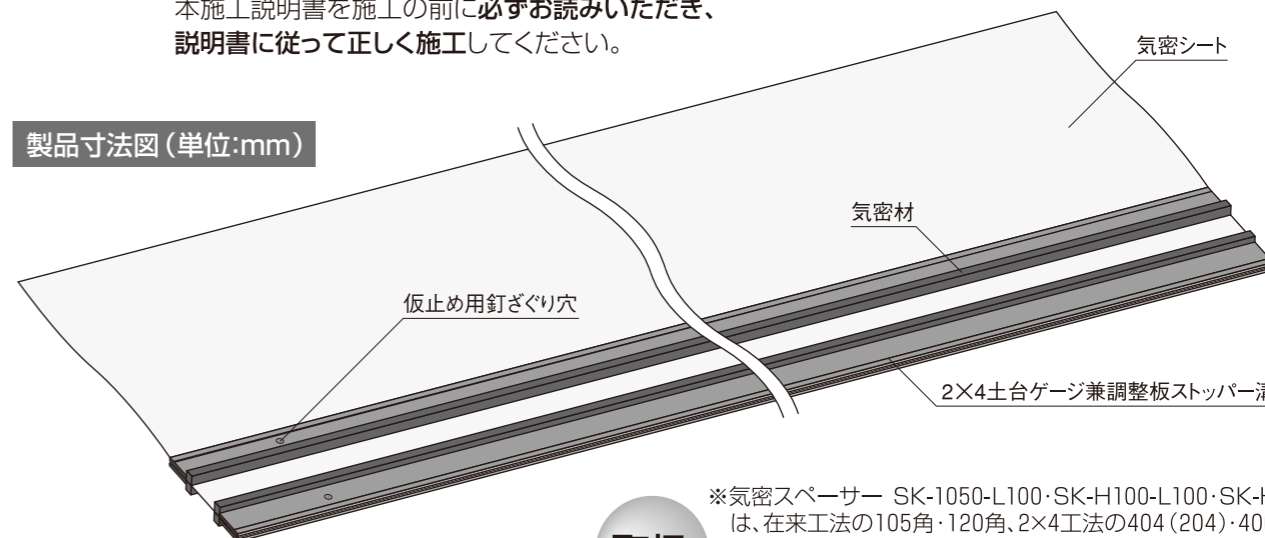
要保存

気密スペーサー PAT.

SK-1050-L100・SK-H100-L100・SK-H100-L04
 SK-1450-L100・SK-H140-L100・SK-H140-L04

施工説明書

この度は気密スペーサーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
 本施工説明書を施工の前に必ずお読みいただき、説明書に従って正しく施工してください。

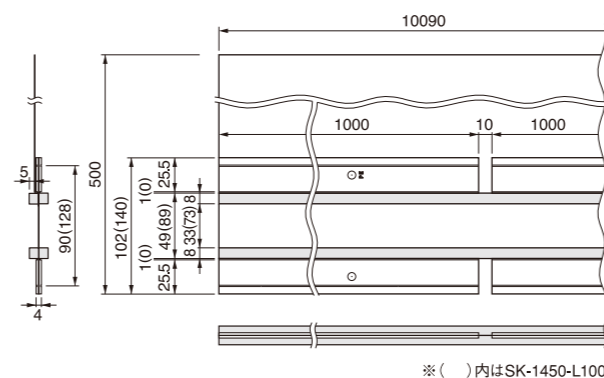


取扱

※気密スペーサー SK-1050-L100・SK-H100-L100・SK-H100-L04は、在来工法の105角・120角、2×4工法の404(204)・406(206)の土台にご使用いただけます。また、SK-1450-L100・SK-H140-L100・SK-H140-L04は、2×4工法の404(204)、在来工法の150角の土台にご使用いただけます。

外基礎用

気密スペーサー: SK-1050-L100・SK-1450-L100



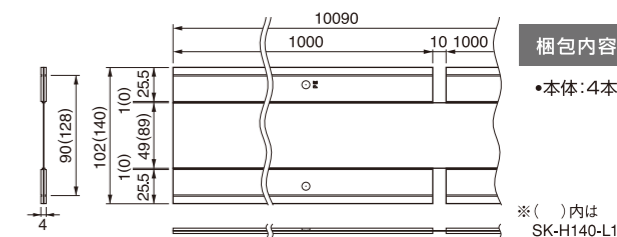
※()内はSK-1450-L100

梱包内容

- 本体: 4本
- ジョイント用気密材: 30枚
- 本施工説明書: 1通
- 気密テープ: 1巻

内基礎用

気密スペーサー: SK-H100-L100・SK-H140-L100

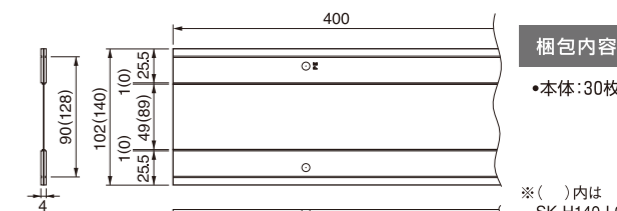


梱包内容

- 本体: 4本

※()内はSK-H140-L100

気密スペーサー: SK-H100-L04・SK-H140-L04



梱包内容

- 本体: 30枚

※()内はSK-H140-L04



取扱いと注意事項

- ① 基礎天端が水平(平滑)に仕上がっているかを確認してください。
※基礎天端の不陸が大きいと気密不良の原因となります。
- ② 気密スペーサーについている気密材は、はがさず使用してください。
- ③ 気密スペーサーに対して、不必要な打撃や加熱を加えないでください。
- ④ 気密スペーサーは、気密を要する箇所に、隙間なく敷き込んでください。
- ⑤ 気密スペーサーの長さ調整及び出入隅加工は、万能バサミ等で行ってください。
- ⑥ 土台敷設後、気密スペーサー及び内基礎用スペーサーと土台との間に隙間が生じる箇所には、必ず別売品の調整板を使用してください。(土台の事後の不陸発生防止)
- ⑦ 気密スペーサーの切断箇所には、必ず付属のジョイント用気密材を表裏共に貼り付けてください。

1

施工ルール(敷き込み位置)

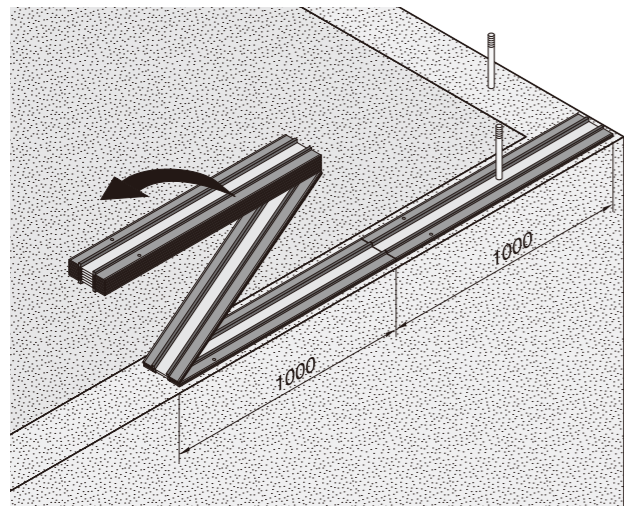
気密スペーサーは、外周基礎など気密を要する箇所に気密シートの付いている面を下向き(基礎側)に隙間なく、連続して敷き込んでください。内基礎には、内基礎用スペーサー SK-H100-L100またはSK-H140-L100を全周に敷き込むか、SK-H100-L04またはSK-H140-L04を内基礎に4つの施工ルールに従って敷き込みます。

内基礎用スペーサーの施工ルール(敷き込み位置)

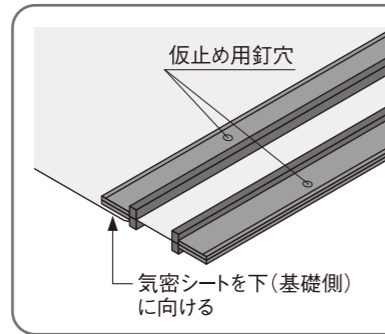
- ① 柱など荷重が集中してかかる部分に1枚
- ② アンカーボルトの緊結部分に1枚
- ③ 土台の継ぎ手部分に1枚
- ④ 敷き込み間隔は3尺(1m)以内に1枚とする(枠組壁工法において耐力壁直下では0.5P間隔で1枚敷き込む)

2

施工方法



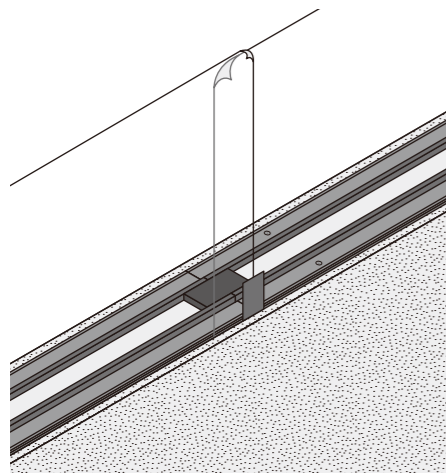
気密スペーサーは、気密の要する箇所に気密シートの付いている面を下向きにして、隙間なく敷き込みます。気密スペーサーを敷き込んだ後に内基礎用スペーサーを敷き込みます。



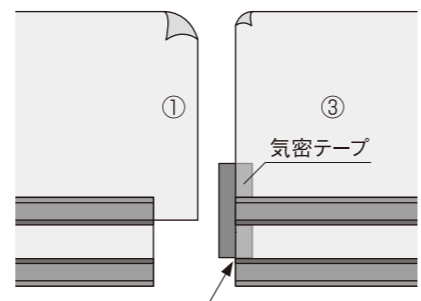
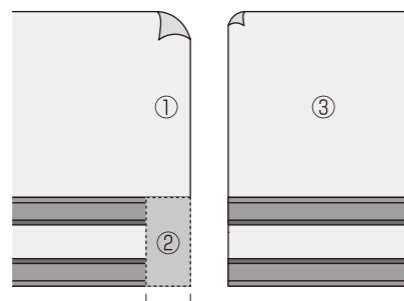
- 敷き込みは、アンカーボルトに突き差しながら設置します。
- 敷き込みの際、仮止めが必要な場合は、仮止め用釘穴にコンクリート釘を打ちます。

3

ジョイント部分の納め方

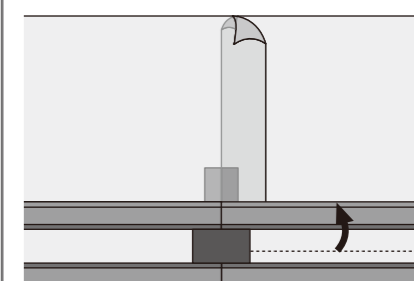
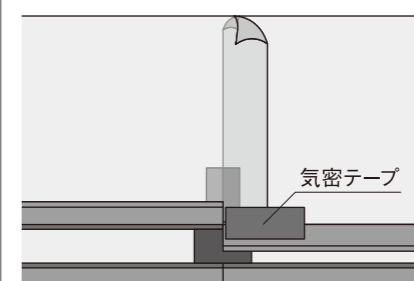
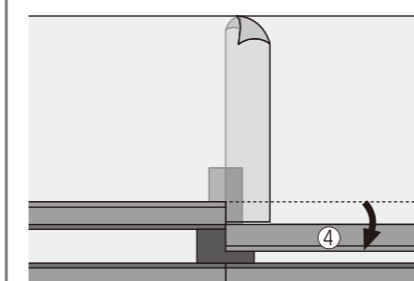
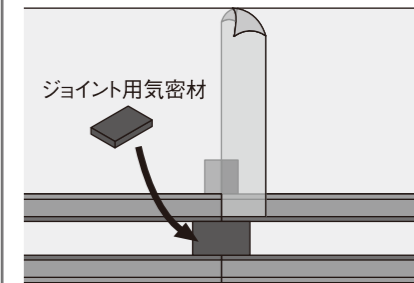
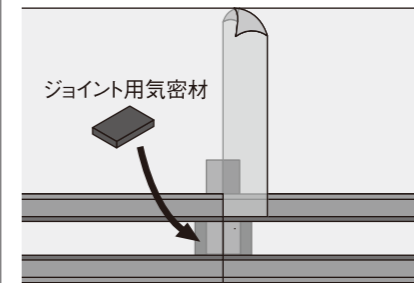
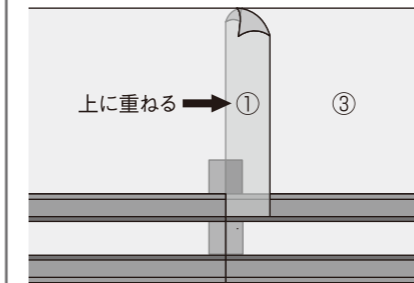


- ① ①のシートを残し、②の部分を取り取ります。
- ② ③の本体とシートの裏側に気密テープを貼付けます。

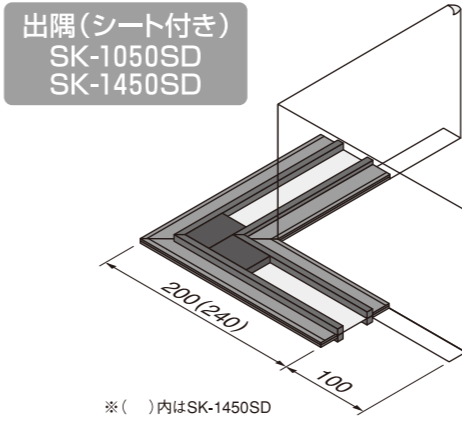


この気密材に貼付けない様に注意してください。

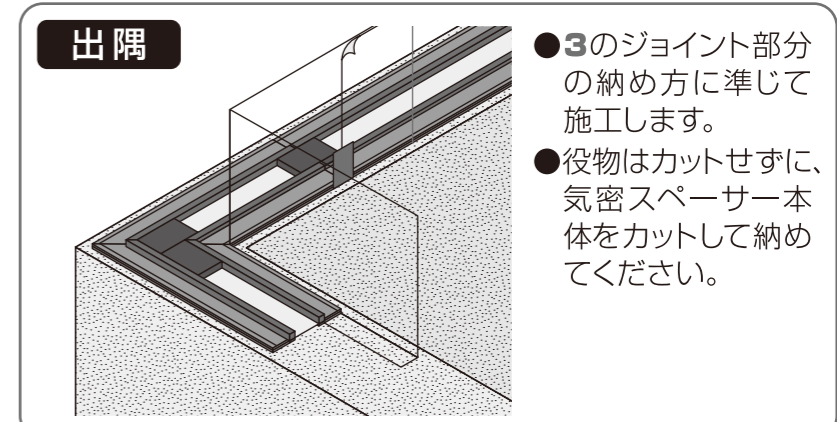
- ③ ①のシートを③のシートの上に重ね合わせてジョイントさせます。
- ④ 裏面のジョイント部分にジョイント用気密材を貼付けます。
- ⑤ 表面も同様にジョイント用気密材を貼付けます。
- ⑥ ④の本体部分を内側に折り込んでシートを出します。
- ⑦ 上から気密テープを貼付けて隙間を塞ぎます。
- ⑧ 折り込んだ部分を元に戻して完成です。



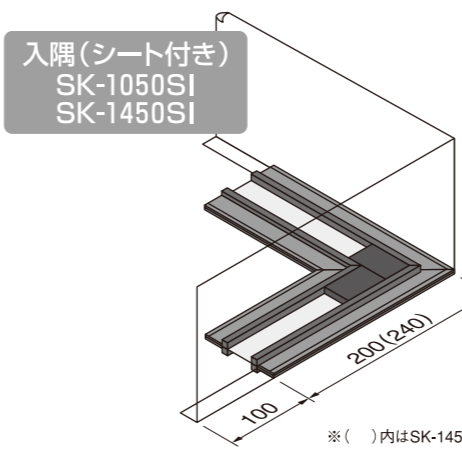
4 役物[別売品]の施工方法(コーナー部分の納め方)



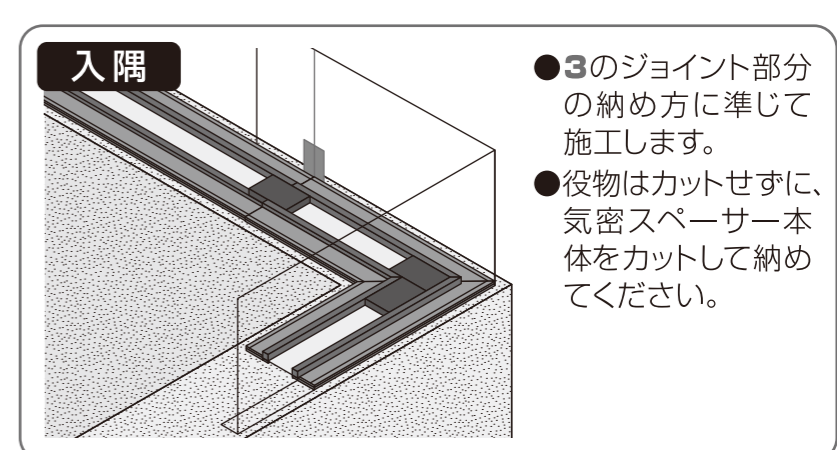
※()内はSK-1450SD



- ③のジョイント部分の納め方に準じて施工します。
- 役物はカットせずに、気密スペーサー本体をカットして納めてください。



※()内はSK-1450SI



- ③のジョイント部分の納め方に準じて施工します。
- 役物はカットせずに、気密スペーサー本体をカットして納めてください。